



○ 串だんご

第7回一日体験入学を22日に行いました。体験実習は串団子（和菓子）です。今はさまざまなスイーツが考案されていますが、和菓子の中の元祖スイーツと言ってもよさそうです。時代劇を見ていると旅人が休憩のために茶店に寄ったとき、よくお茶とこの団子を注文して食べている光景が描かれています。

だんごでもう一つ思い出るのが「だんご3兄弟」という歌です。NHKの番組「おかあさんといっしょ」で1999年に登場しました。当時楽しい絵とともに子どもたちの人気の的になりました。3兄弟なら誰が長兄で誰が弟かというような議論もあったそうな。タンゴのリズムでしたね。

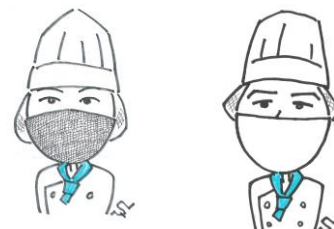
次に私が思い出したのは「およげ！たいやきくん」です。1976年に発表されたものです。まだ私が学生だった頃であり、最寄り駅のすぐ近くの店がこの歌をスピーカーを使い大きな音量で流しながら鯛焼きを販売していたことをよく覚えています。私自身はそんなには食べませんでした。これも大きなブームになっていました。

この原稿を書いていたときに気づいたのですが、「だんご3兄弟」は今から23年前の歌です。「およげ！たいやきくん」はそのまた23年前です。同じ間隔でお菓子の歌が流行ったことを不思議に思います。今年2022年はこのようなお菓子の歌があったかな？

昔、キャラメル箱に「一粒〇〇メートル」というような表現があったことを思い出します。（今もあるかな？）子どもの頃はそんなことがあるのだろうかかと疑っていました。大人になって自転車旅行を始め、長距離（1日100km～150km）を走ることがありました。峠道を上るときなどには、疲れ切って足が動かなくなりそうなこともありました。休憩して持っていたチョコレートを一粒食べると足の筋肉（特に太もも）に力がジワッとわいてくるのが実感できました。「この一粒であと〇〇kmは走ることができる！」という感じです。団子も旅人にとってはそのような手助けをしてくれる存在だったのでしょ。

体験で参加者が作ったのはこの団子だけでしたが、この日の献立には他に「ぶりの照り焼き（菊花蕪）、きのこごはん、お吸い物」がっていました。いつものように美味しかったです。

今回は製菓衛生師科から2人の学生が手伝ってくれました。



○ 自校自費

今回のメニュー : 串団子 他 上記のとおり



だんご4兄弟



今回の植物 : フジバカマ（藤袴）

アサギマダラという蝶々が好む花です。長旅をして疲れた体を元気にしてくれる、蝶々にとってはこれもスイーツ（団子）のようなものでしょうか。それにしても花のありかをよく見つけるものだと感心します。視力でしょうか？嗅覚でしょうか？ 今、多くの小学校などでよく栽培されています。